

コンポーザー

作曲家が弾く。

MISIA「Everything」、高見のつぼ「グラスホッパー物語」、アンダーガールズ（AKB48）「涙のシーソーゲーム」、JUJU「この夜を止めてよ」などを手がける、日本を代表する作曲家のセルフカバー・ピアノ・ソロ公演。

松本俊明 ピアノ・ソロ The Composer Vol.1

Toshiaki MATSUMOTO, Piano Solo Concert “The Composer Vol.1”

2010年

12月4日（土）17:30 開場 / 18:00 開演

王子ホール（銀座4丁目）中央区銀座4-7-5 03-3564-0200

全席指定 5,500円（税込）

10月31日（日）一般発売

イープラス <http://eplus.jp/composer/>

チケットぴあ 0570-02-9999（Pコード 122-822）

王子ホールチケットセンター 03-3567-9990 www.ojihall.jp

主催・制作：イープラス/PROMAX 企画制作：フジバシフィック音楽出版

お問い合わせ：e+（イープラス）0570-069-939（10:00～18:00 土日祝含む）

日本のポップス界を代表する作曲家による、自らの楽曲のピアノ・ソロ公演。
ヒット曲の創作秘話などを交えながら、美しいピアノの音色をお届けします。

松本俊明プロフィール

現在、日本のみならず世界の音楽業界で最も注目を集める作曲家／ピアニスト。

国内外を問わず、幅広いジャンルのアーティストに数多くの作品を提供、その洗練された力強いメロディは高い評価を得ている。クラシックをベースに持ちながらそのポップ感覚溢れる幅広い音楽性から生まれる、洋楽と邦楽のエッセンスの絶妙なバランスを持った旋律は、優しく、温かく、哀愁漂い、渇いた心を潤してくれる。

作曲家として、MISIAとのコラボレーションが注目を集め、「忘れない日々」「Everything」「果てなく続くストーリー」がいずれも大ヒットを記録。その中でも、ドラマ主題歌に起用された「Everything」は200万枚を超え、この楽曲により松本は2002年JASRAC(日本音楽著作権協会)賞・金賞を受賞。他にもCrystal Kay × CHEMISTRYの「Two As One」をはじめ「光あるもの/大山百合香」(NHK-BSの人気番組“関口知広の中国鉄道大紀行”のテーマ曲)、「Moonshine~月のあかり~/松下奈緒」(アニメーション映画“ピアノの森”の主題歌)が話題を呼ぶ他、自らのロンドンでの実体験をもとに原案、作曲をした「グラスホッパー物語」(NHKみんなのうた)で作家としての評価も高まり、現在は作詞家及び執筆家としても活動の範囲を広げている。

2001年、アーティストとして初の作品となるインストゥルメンタル・アルバム「eau (オウ)」をTOMA名義でBMGファンハウスよりリリース。UKのハウス系リミキサー、マット・ダレイやTOMOKI HIRATAによるリミックスも話題となった。

オリジナルソロアルバムとして、2004年「Pianoia I」2006年「Pinoia II」をリリース。リード曲「月の庭」が韓国のスーパースター、イム・ヒョンジュに続き台湾のジェフ・チャンがカバー。アジア圏での注目を更に集めた。

2009年7月22日リリースの「Pianoia」は、Pianoia三部作の完結編で、このリリースにあわせて昨年、初のワンマンコンサートを浜離宮朝日ホールで開催し話題になった。

2010年、AKB48のアンダーガールズ「涙のシーソーゲーム」、JUJU「この夜を止めてよ」(フジテレビ系ドラマ「ギルティ」主題歌)などを作曲している。

【これまでの代表曲】(*年代順、一部抜粋)

SOL Y SOMBRA (今井美樹) / セカンド・キス (稲垣潤一) / 夢がMORI MORI (森口博子) / 真夜中のミュージアム (谷村新司) / イマージュな関係 (WINK) / 7 (工藤静香) / Rain-雨に抱かれて- (松雪泰子) / 忘れない日々 (MISIA) / Everything (MISIA) / 身邊有人 (レスリー・チャン(張國榮)) / Afterimage (松たか子) / 未来の地図 (CRYSTAL KAY) / MISTY MOON (イム・ヒョンジュ・KENNY G) / 空へ (岡本知高) / Two As One (Crystal Kay×CHEMISTRY) / グラスホッパー物語 (高見のつば) / MOONSHINE~月あかり~ (松下奈緒) / CIEL LE~空~ (村治佳織) / 光あるもの (大山百合香) / 光 (SS501) / 永遠 (バク・ヨンハ) / One of Love (GIBIER du MARI) / 愛しすぎて (sg WANNA BE+) / 涙のシーソーゲーム (アンダーガールズ (AKB48)) / この夜を止めてよ (JUJU)